



ねずみっ子 だより

No. 17

ごあいさつ

勝愛幼稚園の歯科検診を担当させていただいております、かとう歯科です。
 検診ではむし歯や口腔内の問題について診ていますが
 今回は歯並びについてお話ししたいと思います。



「正しい」歯並びと「なんたうしん?」

左の2つの写真を見てどちらが「正しい」歯並びかわかりますか？
 両方とも一見すると綺麗な歯並びに見えますが、「正しい」歯並びは…

下の写真の方なんです！

下の方は隙間が空いていて上の方が綺麗に整列されているように見えますね。

でも、考えてみてください、子どもの歯と大人の歯は大きさが全然違いますよね？

上の歯のように隙間がない状態で大人の歯がはえるとスペース不足になり大人の歯がはえてこなかったり、無理矢理はえようとして叢生(そうせい)と呼ばれるガタガタな歯並びになってしまうのです。



歯列不正の種類

ガタガタの歯並び以外にも、歯列不正の種類はいくつかあります。下のイラストのようになってないかお子様のお口を確認してみましょう。



デコボコ



叢生・乱ぐい歯・八重歯

出っ歯



上顎前突・出っ歯

受け口



下顎前突・受け口

開咬



開咬(前歯が閉じない)

中心のズレ



交叉咬合(中心のズレ)

深い噛み込み



過蓋咬合(深い噛み込み)

歯列不正の原因は?

スペース不足の他にも骨格性の問題や習態(指しゃぶりや、うつぶせ寝など)など様々な要因のもと歯列不正は起こります。歯科
 医院で細かく検査する
 必要があります。

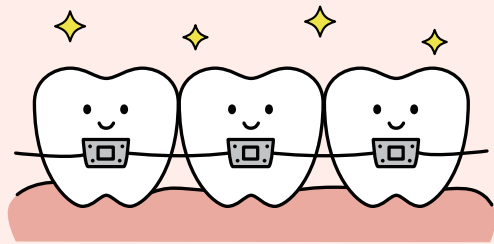


どうやって治すの?

従来のワイヤーを使った方法ではなくマウスピースを使う方法が主流となっています。病態によって治し方や治す時期は違ってきますが、特に受け口などは早期に対応した方が良いでしょう。

いつ矯正をはじめたらいいのか

矯正を始める時期は
主に3つのステージに
分かれています。



- ① 乳歯列期（～6歳）
- ② 混合歯列期（6歳～12歳）
- ③ 永久歯列期（12歳～）



歯並びの状態、治し方によっていつ始めるのが適切かは
変わってきますが、特に幼稚園児が対象となる①乳歯列期では

反対咬合（受け口）・交差咬合

の治療が適しているといわれています。



※反対咬合の矯正治療例